

11 MON 月曜日
18日

使徒1:1~2 テオピロよ。私は前の書で、イエスが行ない始め、教え始められたすべてのことについて書き、お選びになった使徒たちに聖霊によって命じてから、天に上げられた日のことにまで及びました。

いのりだけ できれば OK!

綱引きをしたことはありますか。綱に集中しながら、持っている力いっぱい引っ張って、勝敗を分ける競技です。もし、綱に集中しないで、とんでもない所に目を向けているとすれば、負けるのは当然でしょう。「私は最近、何に集中しているのかな」と考えてみましょう。集中とは、心と関心を一ヶ所に集めることを言います。テレビやゲームを、少しの間、頭を冷やしたり休もうとテレビを見たりゲームをするのではなく、それに集中するようになれば、その影響はものすごく大きいのです。心と思いが荒れ果てるようになります。土地が荒れ果てるようになれば農作業をすることができないほどに荒れて、捨てられるようになります。霊的状态が荒れ果てるようになれば、神様に対するすべてのことがきらいになったり、いらいらするようになります。賛美するのも、祈るのも、すべてのことがいやになります。礼拝時間がとてもつまらなくなります。結局、悪魔の計画のとおりになるようになってしまいます。昨日より今日、もう少し早く起きて神様に集中してみましょう。<子ども祈りの手帳>や聖書を一章か二章読んで、黙想しましょう。歌詞なしで演奏だけの賛美歌を流しておいたり、呼吸しながら集中してもよいでしょう。自分に合う方法を見つけて集中すれば良いのです。毎日祈りに集中して、祈りを個人化させてみましょう。

3 Today

きょうのみことば

マルコ9

いちにち1しゅうかみさまのみことばをよもう!

きょうのいのり

きょうの でんどう

みことばを てきよしよう



本文と関係する2つの聖書の箇所を聖書からさがして書いてみましょう

マルコの福音書9章29節

マルコの福音書9章23節

愛の神様! 一日24時間の生活の中で、神様に集中することができる力をください。イエス・キリストのお名前によっていのりします。アーメン

11 TUE 火曜日
19日

使徒2:42~43 そして、彼らは使徒たちの教えを堅く守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。そして、一同の心に恐れが生じ、使徒たちによって多くの不思議としるしが行なわれた。

かみさまに しゅうちゅう

中国の漢という国で、李広という人がかなり暗くなった草原を歩いていたら、虎が現れました。とても驚いた李広は、精神をすべて集中して弓を撃ちました。飛んで行った矢は虎のからだに正確にささりました。ところで、近づいて見たら、それは虎でなく岩でした。虎だと思ってしばらく驚いたのですが、少しの間だけ集中したその集中の力は、とても恐ろしいことでしょう。

神様に集中することができるなら、いったいどんなことが行われるでしょうか。全地を見回しておられる神様は、心をご自分とまったく一つになっているレムナントには力を与えると約束されました。(Ⅱ 歴代16:9) 自分に最も合う祈りの集中の方法を探さなければなりません。そのときから、すべての生活で祈りができるようになります。そのようになれば、人とのすべての出会いの中で、問題の中でさえも、神様の計画と答えを見つかるようになります。この中にいるレムナントは、必ず神様がくださったタラントを発見するようになります。結局、サミットの座にあがるようにさせていただきます。サミットの座にあがって、多くの成功者とエリートを生かすのが私たちの使命です。

3 Today

さよふの かしこば

マルコ10

いちにち 1しゅう かみさまの
みことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう

こじを まなぼう

こじ まな 故事を学ぼう



いし や
石に矢が
ふか
深くささった



せいしん しゅうちゅう
精神を集中して

ちから
力をすべてつくせば
どんなこともできるという
意味



あい かみさま しゅうちゅう
愛の神様! 集中することができる私だけの方法を見つけさせてください。
そして、神様がくださるタラントを発見して、唯一性とサミットの答えを味わうレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によっておのりします。アーメン

11

WED 水曜日

20日

コロサイ 3:1~4 こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。

たしかに ビジョンが あります

メディア (Media) とは、情報 を伝えて送る媒体 (一方から他方へ伝えるために間にあるもののこと) です。郵便、新聞、雑誌、テレビ、電話、カーナビ、パソコンなど、このようなものがすべてメディアに属します。

メディア時代が、だんだん強くなって、人々が揺れています。インターネットがあって便利になって人々をますますパソコンやスマホ (携帯電話) に執着させています。メディアに閉じ込められた生活をしていたら、考える力が奪われます。人間らしい姿をますますなくすのです。ここに多くの宗教団体が悪霊の力を借りて、人々を揺さぶっています。今は強大国でメディアの力と宗教の力のふたつとも活用して、世の中をさらに多く乱らせていさせています。

このような至急な時に、神様は残った者 (レムナント) を呼ばれて、ビジョンもいっしょにくださいました。病気の地球を生かす唯一の薬である「イエス・キリスト」を契約くださって、この契約がすべての民族に伝えられなければならないという「世界福音化」のビジョンもくださいました。この契約とビジョンを持った残った者 (レムナント) が祈るときに、聖霊の満たしを注いでくださると約束されました。イエス・キリストの世界福音化を握って、深い祈りの中に入る残った者 (レムナント) を神様が探しておられます。

3 Today

きょうの みことば

マルコ11

いかに 11 しょう かみさまの みことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう

みちを みつけよう

みことばを てきようしよう

わたし たちは神様が創造の前に選ばれて呼ばれた残った者です。残った者が行くべき伝道者の道に従っていきましょう。



11 THU 木曜日
21日

詩篇5:3 主よ。朝明けに、私の声を聞いてください。朝明けに、私はあなたのために備えをし、見張りをいたします。

いまは ひとりで いるときも

礼拝時間に、みんなでいっしょに祈るときは簡単にできるのに、ひとりで祈るときは、よくできないのでしょうか。先生と他の友だちとともに集まって祈るときは、ある程度できるのですが、ひとりでいるときは、自分で祈ることは簡単ではないのでしょうか。いっしょにいれば本当に楽しいのに、ひとりでいるときには、つまらないなら、少し考えてみなければなりません。神様に用いられたレムナントを見れば、みんながひとりでいるとき、神様に集中する奥義がありました。「ダビデ」は羊飼いの時期にもそうで、「ヨセフ」は奴隷生活のときも、監獄生活のときもそうでした。それで中学生になる前に、小学生の時から、自分で祈って、神様に出会うことを知っているようになったら、どれくらい良いでしょうか。今日から一度挑戦してみましょう。

「ダビデ」は、聖書のみことばを声を出して口ずさみながら、深く黙想しました。早朝にも、昼間にも、夜にも、神様のみことばを暗唱して、黙想して喜びました。「ヨセフ」は、はおじいさんとお父さんから聞いたイエス・キリストについてのみことばを黙想しながら喜んで、月と太陽と11の星が自分におじぎをするビジョンを持って祈って喜びました。私たちもダビデとヨセフのように、ひとりでいるときに祈りながら神様を喜びましょう。

3 Today

きょうのみことば

マルコ12

いちにち1しゅう かみさまのみことばをよもう!

きょうの いのり

きょうの てんどう

いかにいかに せいじうしたる チェックしよう

2013. 7. 25 (レムナントリーダー修練会)

みことばを できよう

えいご せいく おぼえよう!

“Do not let your hearts be _____ . Trust in God; _____ also in me. In my Father's house are many rooms; if it were not so, I would have told you. I am going there to prepare a place for you. And if I go and prepare a place for you, I will come back and take you to be with me that you also may be where I am. You know the way to the place where I am going.” Thomas said to him, “Lord, we don't know where you are going, so how can we know the way?” Jesus answered, I am the way and the truth and the life. No one comes to the Father _____ through me. John 14:1~6

★ except ほかに ★ trust しんらい しんにん ★ troubled しんばいする なやむ ふあんになる



父なる神様! いままでひとりでいるとき、自分で神様に祈ることを知りませんでした。しかし、これからは、ダビデとヨセフのように、ひとりでいるときに、神様のみことばを喜んで祈ることに挑戦できるように、助けてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

11

FRI 金曜日

22日

詩篇78:70~72 主はまた、しもベダビデを選び、羊のおりから彼を召し、乳を飲ませる雌羊の番から彼を連れて来て、御民ヤコブとご自分のものであるイスラエルを牧するようにされた。彼は、正しい心で彼らを牧し、英知の手で彼らを導いた。

せんもんせいを そなえる まいにち

ある町に「Dピザ」のお店ができました。店の中に入ってみて、ピザをすぐに食べたいという気がするほど、きれいで清潔な雰囲気が入りました。ピザを食べてみたら、予想したとおり、おいしかったのです。この店は、数年が過ぎたいまでも、多くの人に人気があります。すると、この店の向い側に他のピザのお店ができました。そこでは、ピザだけ売るのでなく、チキンも売るところでした。そちらはそれほどきれいでなかったし、味もおいしくありませんでした。ただ商売がうまくいくピザ店を見ながら、まねしただけで「専門性」はまったくないお店でした。

福音で人を生かさなければならぬレムナントは「専門性」を持たなければなりません。そうしてこそ、さらに多くの人に福音を伝えられます。何よりも祈りの専門性を持たなければなりません。いつでも神様と疎通することができるように「私だけの時間に祈りの専門性」を持つのです。その次には「Dピザ店」のように、他の人がついてくることのできない「私だけの実力と技術」を準備しましょう。「祈りの専門性」と「実力の専門性」を持ったレムナントは、多くの人と時代をリードするようになって、未来を生かすようになるでしょう。

3 Today

きょうの みことば

マルコ 6

いにしえ、ししや、かめさるの、みことばを、よもう!

きょうの いのり

きょうの でんとう

でいごくはいに、せいじうしたる、チェックしよう

かんがえて みよう



聖書のレムナント7人の話

は、ほんとうに昔にあったことですか。それとも、教訓を与えるために作られたお話ですか。イ・ミヒョン/イルサンセゲロ教会



キム・ナンハ牧師先生といっしょに

もやもや ?
なやんでいます

牧師先生の教会のレムナントも、ミヒョンレムナントと同じような質問をしたことがありました。

まず、聖書のレムナント7人の話は、作り話ではありません。聖書に記録されているからです。神様のみことばは、聖霊の感動ですべて記録されました。そして、神様が時代ごとに、神様のみことばである契約を、残った者、残る者、散らされた者、隠された者を通して契約が伝えられるようにされました。まさに、そのことをした人々を切り株、あるいはレムナントと言うのです。

聖書の内容について部分的に信じている人が、理解できないで、聖書の内容は、教訓を与えるために意図的に作り出したものだ主張するようです。しかし、聖書にあるすべては、人が意図的に作ったものでなく、神様が世界福音化を成し遂げる中で計画して成就させられたものです。

そして、聖書のレムナント7人の話は、すべて事実であり、また、そのみことばを信じて、そのみことばに頼りながら生きるすべてのレムナントに成就する神様のみことばだということです。



父なる神様! 私は世界福音化の主役です。聖書のレムナント7人のように私だけの祈りの専門性を備えたいです。まねしたのではなく、実力と専門性をもったレムナントになりたいです。いまから毎日、専門性を備えていく生活をさせてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

ミナの にっき

ひさしぶりに〈子どもの祈りの手帳〉を持って学校に行った。ダビデのように、みことばを黙想の奥義を味わって、新しい力を受けたかったから。昼食を食べた後、運動場を横切って、かけがあるベンチにすわった。このごろ、牧師先生が朝と夕方にみことばを黙想したダビデについて語られる。ダビデの話は、みことばを聞く時ごとに新しかった。実際に、私は昨日まで気分がよくなかった。私のクラスにいる、服も良い服を着て、勉強もよくできるエミという友だちのためだった。エミは、私たちのクラスで、いちばんかわいい子だ。そばにいれば、ただ幸せに見えた。また、エミのまわりには、いつも友だちがたくさんいる。

ところが、ある日、エミが涙をぽたぽた流していた。私はエミに近づいて尋ねた。

「エミちゃん、なんで泣いているの」エミは、背中を向けて逃げて行った。その次の日、学校で見たエミの姿は、いつものように明るい姿だった。



3 Today

きょうの みことば

マタイ28

いちにち、1しょう、かみさまのみことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう

日曜礼拝のとき、神様を離れた人間は、多くのことを持っていても幸せではないというみことばを聞いた。神様の子どもが祝福を受けていても、祝福を味わうことができない理由は、神様を求めないからだ。神様を信じてても問題が来ることもあり、葛藤が生じることがある。葛藤と苦しみは、神様の計画を成し遂げる土台で、これから私たちが進まなければならない方向であることを、やっと分かるようになったようだ。この奥義を分からなければ、暗やみの勢力がいっぱいである世の中で勝利することはできない。

なぜなら、毎瞬間、暗やみの勢力が神様の子どもをだますからだ。すべての葛藤は、神様のみことばに従って行かないで、私の考えを前面に出したから生じたということだった。私はエミの姿をうらやましく思った自分があまりにも恥ずかしかった。目の前は、願っているとおりの生活ではなくても、神様の約束を待った聖書のレムナント7人のように、神様の約束を最後まで待つ人になりたい。

ときには、心が痛くなることも起きて、神様が私になぜこういう問題を与えられたのか祈ってみようと思う。私は神様の祝福を伝えるレムナントなのだから!

